



タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3302		
科目名	社会心理学		
担当教員	木村 敦		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 4		
講義室	オンライン	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1学識と専門技能（70%） I1理解・分析と読解（20%） I3情報分析（10%）		
教員の実務経験	2007年から2010年まで、独立行政法人農業食品産業技術・総合研究機構食品総合研究所（現・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門）の契約研究員として、リスクコミュニケーションや消費者行動に関する研究や啓発活動に従事してきました。また2019年から環境省エコチル調査「地域の子育て世代との対話」ワーキンググループ委員としてリスクコミュニケーションに関する企画や評価を行っています。その中で実践した消費者の認知や思考を考慮したリスクコミュニケーション手法などに関する実務上の知見と経験を活かして講義を行います。（第4回・第7回・第10回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	危機管理を考えると、災害や大規模事故における情報伝達や避難行動などの集合行動の問題が重要な課題となります。社会不安が原因となるパニックの問題や風評被害、うわさやデマ、流言飛語などのコミュニケーション的問題などは、社会心理学的アプローチによる考察が必要となります。社会における集団心理、集合心理、群集心理、世論現象など社会倫理的諸問題を考察します。授業は講義により行います。 キーワード: 社会的認知・群衆心理・世論・説得的コミュニケーション ※授業形態は講義形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型）を取り入れます。		
授業の趣旨	■副題 危機管理上の課題となりやすい「人間の非合理的な心理や行動」について、社会心理学のアプローチから読み解きましょう。 ■授業の目的 ①社会や特定の状況における人間の認知や行動特性、集団行動、群衆心理、およびその研究法について修得することで、危機管理において考慮すべき社会心理学的要因に関する専門的学識を高める。 ②危機管理上問題となりやすい人間行動について社会心理学の枠組みから解釈することで、客		

	観的分析力を高める。 ③自身の身近な出来事を社会心理学的見地から分析することで、知識と自己の経験を関連づける。 ■授業のポイント 同じ人であっても状況によって心理や行動が変わってくるということを、日常の身近な例から危機管理上の問題に至るまで、様々な事例や研究例をもとに考察していきます。社会心理学の基礎的なトピックスに加えて、集合行動や群衆心理、民族間対立、被災者とのコミュニケーション、インターネット上の炎上など、危機管理とかかわりの強いトピックスも取り上げます。	
総合到達目標	■危機管理を行う上で考慮すべきヒューマンファクターに関する学識・専門技能を高めるために、社会や特定の状況における人間の認知・行動特性とその心理学的メカニズム、ならびに研究法を理解する。また、理解力・分析力を高めるために、危機管理上問題となりやすい人間の非合理行動の事例について、社会心理学の枠組みから解釈する態度を身につける。 ・社会的認知・行動の現象とメカニズムについて説明することができる。(第2～14回) ・社会心理学の研究法における「状況の再現と研究倫理のバランス」の問題について、意見を述べるすることができる。(第2～3回) ・集合行動の現象とメカニズムについて説明することができる。(第11回) ・社会心理学の諸現象について、関連する自身の経験を想起することができる。(第2～14回) ・自身の希望領域・キャリアにおける顕在的・潜在的な課題を挙げ、その要因を社会心理学的観点から解釈することができる。(第15回)	
成績評価方法	■理解度確認課題2回（60％） 適用ルーブリック E1 （評価の観点）当該単元の理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■ミニテスト10回（10％） 適用ルーブリック E1 （評価の観点）各授業回の理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■リアクションペーパー10回（20％） 適用ルーブリック E1・I1・I3 （評価の観点）授業内容を日常生活の経験に置き換えて説明できるかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■レポート1回（10％） 適用ルーブリック E1・I1・I3 （評価の観点）社会心理学で学修した知識・技能・態度を危機管理に関するキャリアと関連づけて論じることができているかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて評価基準の説明を行います。 ※成績評価における各方法の比率は、授業形態によって変更となる場合があります。詳細は初回ガイダンスで説明します。	
履修条件	なし	
履修上の注意点	初回ガイダンスにて、授業の進め方や、欠席（公欠）時の代替課題、受講ポリシー、成績評価の詳細などについて説明します。それらをよく理解した上で履修してください。初回ガイダンスに欠席した場合は、授業動画や授業資料を用いて各自で学修してから履修してください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 ガイダンス聴講と個別質問により、当科目の到達目標や学習計画、授業運営や成績評価方法を想起できるようになるとともに、それらを自分のコンピテンスや希望キャリア、学修計画と照らし合わせ、当科目を今期履修するか否かの意思決定ができるようになる(I1)。 ③予習（120分） シラバスを精読するとともに、図書館等で社会心理学概説や群衆行動に関する書籍を閲覧し、目次や興味ある章を一読する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、「シラバス・ガイダンス理解度テスト」をポータルから受験し、採点結果と解説を確認する。また、自分の学修計画における当科目での学修目標を明確にするともに、他履修科目の授業計画も参照し、当科目について学期を通じての学修計画書を作成する。
	2	①授業テーマ 社会心理学の研究法 ②授業概要 特定の社会的状況を実験的に再現するために用いられる社会心理学の技法について説明できるとともに(E1)、社会心理学の知見についてその実験計画(独立変数と従属変数が何か)を説明することができるようになる(E1)。 ③予習（120分） ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている参考書・URL等を参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習（120分） 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。

3	①授業テーマ 心理学の研究倫理 ②授業概要 特定の状況における人間行動を再現する社会心理学実験において、現在の心理学研究における倫理的配慮の技法や手続きについて説明できるとともに(E1)、学術的価値と研究倫理のバランスを考える必要があることについて自身の考えを論じることができるようになる(I1)。 ③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている参考書・URL等を参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
4	①授業テーマ 社会的認知 (1) 印象形成 ②授業概要 人間が他者や状況をどのように認知するかに関連して、印象形成に影響を及ぼしやすい情報特性とそのメカニズムについて説明できるとともに(E1)、当トピックに関連する自分自身の経験と照合を行い、学習内容の妥当性や適用範囲について自分の言葉で意見を述べられるようになる(I1)。 教員の実務経験を活かして、ステレオタイプが意思決定や行動に及ぼす影響についても実務経験を交えて講義します。 ③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている参考書・URL等を参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
5	①授業テーマ 社会的認知 (2) 社会的推論 ②授業概要 人間がどのような原因帰属を行い得るかについて、帰属要因を挙げながら説明することができるとともに(E1)、人間の非合理的な帰属傾向について、それらの名称と例を挙げながら説明することができる(E1)。さらに、当トピックに関連する自分自身の経験と照合を行い、学習内容の妥当性や適用範囲について自分の言葉で意見を述べられるようになる(I1)。 ③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている参考書・URL等を参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
6	①授業テーマ 社会的認知 (3) 態度 ②授業概要 態度の概念、およびその形成や変容に関わる認知メカニズムについて説明することができるとともに(E1)、態度変容に影響を及ぼす要因や説得的コミュニケーションの諸技法について、例を挙げて説明できるようになる(E1)。さらに、当トピックに関連する自分自身の経験と照合を行い、学習内容の妥当性や適用範囲について自分の言葉で意見を述べられるようになる(I1)。 ③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている参考書・URL等を参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
7	①授業テーマ 動機をもつ戦術家としての人間 ②授業概要 一見、非合理的で自己中心的に思える社会的認知の諸バイアスを、「人間が社会適応するための戦略的な情報処理プロセス」と考えるアプローチについて、現象やモデル例を挙げて説明することができる(E1)。さらに、当トピックに関連する自分自身の経験と照合を行い、学習内容の妥当性や適用範囲について自分の言葉で意見を述べられるようになる(I1)。 教員の実務経験を活かして、情報の理解や評価に影響を及ぼす社会的認知要因についても実務経験を交えて講義します。 ③予習 (120分) ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている参考書・URL等を参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習 (120分) 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
8	①授業テーマ 理解度確認課題 (1) ②授業概要 理解度確認課題の実施と解説を通じてここまでの学習内容についての到達度を把握する(E1)。 ③予習 (120分) これまでの授業ノートを読み直し、各回のテーマや専門用語について論じられるよう準備する。

	④復習（120分） 授業内テストの内容を振り返り、理解しきれていなかった点について再度まとめなおす。
9	①授業テーマ 危機管理と社会心理学(1) ②授業概要 恐怖管理理論の概略およびその心理メカニズムに基づく集団間対立や差別の生起や軽減アプローチについて説明することがでる(E1)。さらに、当トピックに関連する自分自身の経験と照合を行い、学習内容の妥当性や適用範囲について自分の言葉で意見を述べられるようになる(M1)。 予習（120分） ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている参考書・URL等を参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習（120分） 授業内テストの自己採点結果をもとに、ここまでの学修到達度を学習計画に基づいて検証するとともに、これ以降の学修計画の見直しを行う。
10	①授業テーマ 集団のダイナミクス(1) 他者存在 ②授業概要 他者存在が個人のパフォーマンスに及ぼす影響とその心理メカニズムについて、例を挙げながら説明することができるようになる(E1)。さらに、当トピックに関連する自分自身の経験と照合を行い、学習内容の妥当性や適用範囲について自分の言葉で意見を述べられるようになる(M1)。 教員の実務経験を活かして、他者手がかりを活用したリスクコミュニケーションの現状と可能性についても説明します。 ③予習（120分） ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている参考書・URL等を参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習（120分） 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
11	①授業テーマ グループダイナミクス（2）集団 ②授業概要 対人魅力や対人関係など、集団の形成・維持・崩壊に関わる社会心理学の現象やモデルの例を説明できるとともに(E1)、 集団心理の特徴について例を挙げながら説明することができる(E1)。さらに、当トピックに関連する自分自身の経験と照合を行い、学習内容の妥当性や適用範囲について自分の言葉で意見を述べられるようになる(I1)。 ③予習（120分） ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている参考書・URL等を参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習（120分） 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
12	①授業テーマ グループダイナミクス（3）集合行動 ②授業概要 集合行動と集団行動の違いについて、例を挙げながら論理的に説明できるとともに(E1)、 集合行動の現象やその発生要因、メカニズムについて例を挙げながら説明することができる(E1)。さらに、当トピックに関連する自分自身の経験と照合を行い、学習内容の妥当性や適用範囲について自分の言葉で意見を述べられるようになる(I1)。 ③予習（120分） ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている参考書・URL等を参照して資料空欄に適切な語を記入する。 ④復習（120分） 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。
13	①授業テーマ 理解度確認課題（2） ②授業概要 理解度確認課題の実施と解説を通じてここまでの学習内容についての到達度を把握する。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスカスラーニングを取り入れる場合があります。 ③予習（120分） これまでの授業ノートを読み直し、各回のテーマや専門用語について論じられるよう準備する。 ④復習（120分） 授業内テストの自己採点結果をもとに、ここまでの学修到達度を学習計画に基づいて検証するとともに、これ以降の学修計画の見直しを行う。また、理解しきれていなかった点について再度まとめなおす。
14	①授業テーマ 危機管理と社会心理学（2）危機管理の専門的コミュニケーション ②授業概要 自然災害や事故、テロ等の被害者・目撃者とのコミュニケーションにおいては、心理学的見地からのガイドラインを参照し、相手の心理面に配慮しながら適切な振舞いをする必要があることについて、具体例を挙げながら説明することができる(E1)。さらに、当トピックに関連する自分自身の経験と照合を行い、学習内容の妥当性や適用範囲について自分の言葉で意見を述べられるようになる(I1)。 ③予習（120分） ポータルから当該授業回の配布資料をダウンロードし、資料に記載されている参考書・URL等を参照して資料空欄に適切な語を記入する。

	④復習（120分） 授業ノートを確認し、当該授業の学習内容について自分の言葉で概略を述べるとともに、日常生活例や発展研究例など自分なりの説明をノートにまとめる。 15①授業テーマ 授業総括～到達度評価 ②授業概要 授業総括を通じて、当科目での学習内容や自己の到達度を説明できるようになるとともに(D1)、到達度チェックシートや授業内レポートを通じて自身の希望領域・キャリアにおける問題解決に社会心理学的解釈がどのように寄与するか根拠を示しながら論理的に説明できるようになる(I1)。 ③予習（120分） これまでに配布した授業資料やノートを読み直し、科目を通じて自分が修得した知識や技能を論じられるように準備する。また、到達度が充分でない部分については、再度教科書や授業資料をまとめ直し、不明な点を質問できるようにする。 ④復習（120分） 授業総括および授業内レポートの内容を振り返り、自分の考えを再検証する。
関連科目	災害対策論 (RMGT3501)
教科書	教科書は使用せず、各授業回について講義資料を配布します。なお、講義資料はポータル (Live CampusあるいはGoogle Classroom) から事前にダウンロードすることができますので、予習や補習に活用してください。
参考書・参考URL	池上知子・遠藤由美 (2009). グラフィック社会心理学(第2版) サイエンス社 山田一成・北村英哉・結城雅樹 (2007). よくわかる社会心理学 ミネルヴァ書房 その他、授業中に適宜指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜2限。それ以外の時間は、メール等で事前にアポイントメントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント25%: パブリックセキュリティ25%: グローバルセキュリティ25%: 情報セキュリティ25% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理90%: 法学10%

